

第2回 「(仮称)宇都宮市省エネルギー推進プラン」策定委員会議事録

1 日 時 平成19年10月23日(火) 午前10時30分～午前11時50分

2 場 所 市役所 14A会議室

3 出席者

委 員 岡委員長, 田中副委員長, 岩井委員, 田辺委員, 今井委員

オブザーバー 渋谷氏(関東経済産業局), 中森氏(NEDO技術開発機構)

事務局

環境部環境政策課: 斎藤次長, 石井課長, 森田総務担当主幹, 秋山補佐, 中山係長, 後藤総括主査, 鈴木主任, 小出主任主事

4 議 事

(1) 市有施設の省エネルギー診断対象施設の選定について

(2) 今後のスケジュールについて

5 結 論

議事について, 委員全員が了承。

6 質疑等

別紙のとおり

【質疑等】

(1) 資料1について

- 岩井委員 P 1 6 の省エネルギー可能性調査について、省エネルギー改修後の効果試算について記載があるが、その評価軸については、省 CO₂についても必要では？
- 岡委員長 市の施設改修の削減目標があるのでは？
- 事務局 省 CO₂効果についても検証する。また市の削減目標については全体での目標はあるが、個別の施設削減目標は定めていない。
- 田辺委員 動力系施設が除外されているが、その理由は？
- 事務局 清掃工場、浄水場などに導入されている設備についてはその企業及び子会社などの系列企業が維持管理などを、おこなっているケースがほとんどであり、E S C O事業に馴染まないことから、除外をしている。
- 田辺委員 E S C Oに馴染まないのであれば、省エネ改修を進めていく必要があるのでは。
- 事務局 各施設の改修時期に合わせて、省エネ対策について検討していきたい。
- 岡委員長 今回の議題にはならないが、エネルギー使用量が市全体の4割以上を占めるので、大きな問題だ。
- 岩井委員 P 1 5 の今後の省エネルギー推進のための基礎資料となる施設を選定しているようだが、今後どのように進んでいくのか？
- 事務局 小学校・中学校・地区市民センター・保育園については類似施設が多くあることから、モデル的に診断し今後の省エネ改修の参考とすることを想定している。
- 岡委員長 エネルギーに係る経費からみると、単体としてE S C Oにするには金額が少ないので複数施設での導入でないと難しいと感じた。
- 田中副委員長 施設単独では3千万くらいの規模が目安になっているようだ。

(2) 資料2について

特になし

(3) その他

※ 関東経済産業局 渋谷氏より「省エネルギー対策について」資料に基づき説明

- NEDO 今後のスケジュールについてですが、会議が後2回予定されているようだが、次回の3回目の会議である程度プランの素案について議論が必要だ。最後の会議だけの協議だと積み残しの可能性がある。
またビジョン策定にあたっては、策定後の実施体制を明記してもらいたい。省エネの前提条件にPDCAサイクルを取り入れる体制づくりが重要である。また、先ほど話しのあった動力系施設の省エネ指針などもビジョンに盛り込んでいただきたい。これはあくまでも意見であり、限られた時間の中でやっていく事なので、できるだけ取り入れていただきたい。

- 岡委員長 以上で閉会させていただきます。長時間にわたりありがとうございました。